

皆さんといっしょに考え、育みながら 愛着と誇りをもてるまちへ



この度の土岐市長選挙において、引き続き市政を担当させて頂いていただくこととなりました。あらためて責任の重さに身が引き締まる思いであり、市民の皆さんの期待に応えるべく、全力で市政に取り組みたいと思います。

1期目の4年間は、多くの期間を新型コロナウイルス感染症対策と並走しながら、地域の持続力を高める種を蒔いてきました。

中でも重点施策に位置付けた「読書推進事業」では、東濃地域で初めて電子図書館システムを導入し、小中学校のGIGA（ギガ）スクール構想との連係により、子どもたちの「ときし電子図書館」の貸出冊数が大きく伸びています。また、人生100年時代に向けて、子どもからお年寄りまで全ての年代が元気に楽しく活躍できるよう「ときげんきプロジェクト」に取り組み、子どもたちの運動習慣づくりや高齢者のフレイル予防

など、年代に応じた事業を展開してまいりました。

こうした人づくり、生きがいづくりの事業とともに、安定した医療提供体制を確保するため、瑞浪市とともに新病院の設置に取り組み、令和8年2月の開院を目指した建設が進んでいます。

少子化や人口減少が土岐市においても加速しています。

社会基盤に影響を与える大きな課題と認識しています。デジタル化による効率化を図りながら、コロナ禍で傷ついたコミュニティの再生など、これまでの取り組みを土台としながら、「愛着のもてるまちづくり」、「地域を支える一ひとづくり」、「健やかでいきがいのもてる暮らしづくり」の3つの柱を立て、皆さんの声を大切に、土岐市のもつ可能性が花開くよう2期目の市政に取り組みたいと思います。

ご支援、ご指導どうぞよろしくお願いいたします。

愛着のもてる一まちづくり

社会の変化、情報技術の発展により、地域との関係も様変わりしました。それでも、普段生活する地域を大切にすることは、幸せや安心のため代えることはできないのではないのでしょうか。子育てしやすい環境づくりなど子どもを大切にすまちづくり、歴史・文化の活性化や産業の振興、駅周辺の再生まちづくりを進め、愛着と誇りのもてるまちづくりに取り組みます。

地域を支える一ひとづくり

物質的な豊かさから精神的な豊かさを求める時代へ変化したといわれています。変わり続ける時代に地域を支えるには、教育や地縁など文化の基盤が必要です。教育環境の向上や読書推進により次世代を担う人、ふるさとを大切にす人を育てることで、地域を支えるひとづくりを進めます。

健やかでいきがいのもてる一暮らしづくり

全世代の健康寿命延伸を目指し、「ときげんきプロジェクト」をさらに推し進めるとともに、学びやスポーツに親しむ機会の充実、お年寄りが住み慣れたまちで自分らしく暮らすことができる仕組みづくり、新病院の設置など地域医療体制の確保充実を図ることで、健やかでいきがいのもてる暮らしづくりを実現します。また、地域のデジタル化、行政のプロフェッショナルの育成、メリハリのある財政運営に努めます。